



かしく やさしく たくましく 地域とともに

栃木中央小だより

令和7年度

2月号

文責 校長 平野 宗

全力 吾ーくん



暦の上では立春を迎え、朝夕の寒さも少しずつやわらぎはじめました。学校では、体育や休み時間になわとびの練習に取り組む子どもたちの姿が見られます。一人一人が自分の目標をもって、様々な跳び方にチャレンジしています。職員手作りの練習板を使っているので、「トントン」とリズムよく跳ぶ音が校舎内にも響いています。

学習や生活においても、自分の目標に向かって粘り強く取り組む心を育ててまいりますので、ご家庭でも励ましをお願いいたします。

また、インフルエンザ等の感染予防に努めてまいりますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。



授業参観・学年懇談会へのご協力ありがとうございました。

2/4(水)は、4・5・6年生、さわやか・あおぞら・そよかぜ学級、2/5(木)は、1・2・3年生の授業参観と学年懇談会を行いました。両日ともにたくさんの保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。

学年ごとに、保護者の方に学習成果を発表する活動や学習支援をお願いする活動を取り入れて、子どもたちの学ぶ力の成長を実感していただくよう工夫しました。

子どもたちも楽しく安心して活動することで、学びへの意欲が高まりました。



【1年：もうすぐ2ねんせい(生活)】



【2年：見たこと・かんじたこと(国語)】



【3年：トントンき打ち(図工)】



【4年：言葉から連想を広げて(国語)】



【5年：正多角形と円(算数)】



【6年：これからなりたい自分(総合)】



【和太鼓や音読等の発表】



【学年懇談会の様子】

さわやか・あおぞら・そよかぜ学級では、地域の方にご指導いただいた和太鼓の演奏や宿泊や校外学習での体験発表などを行いました。

学年懇談会では、学年ごとに1年間の学習面や生活面での頑張りや成長が見られたところについて説明しました。

年度末を迎え、学年のまとめを進めながら、子どもたちのさらなる成長につながるよう授業改善に取り組んでまいります。



「学び合い ふれあい 支え合い」子どもも大人も夢を育む学校 山本有三先生の教えを日々実践する学校

学校経営の重点的な取組について、1月下旬から2月中旬の教育活動の様子をお知らせいたします。



「心身の健やかな成長を促す教育」の充実に取り組んでいます。



食の大切さを考え、感謝を伝える給食週間の取組

1月19日（月）から23日（金）は、「校内学校給食週間」でした。給食の大切さを考え、よりよい食事の習慣を身に付けること、給食でお世話になっている人たちや食物に感謝の気持ちをもつことを目的として、給食委員会が中心となった様々な取組を行いました。

各学年で調理員さんへの感謝の手紙、給食に関する標語を作成し、代表作品を日惜ホールに掲示しました。給食感謝集会は、オンラインで実施し、調理員さんへ感謝の手紙の贈呈を行いました。



【給食委員会の司会】



【調理員さんへ手紙の贈呈】



【感謝の手紙や標語の掲示】



運動を楽しみ・体力向上を目指す取組

学校評価の結果では、「運動を楽しみと感じる」ことに課題が見られました。体育委員会が課題解決に取り組み、昼休みの体力づくりのイベントを実施しました。

学年ごとに実施日を設定し、お昼の放送で参加を呼びかけて、校庭でケイドロ大会を行いました。

集まった子どもたちは、工夫されたルールで、楽しくたくさん走ることができました。



地域とともにある学校づくりに取り組んでいます。



ボランティアの皆様を支えられた学びの充実



2年生では、算数での「かけ算九九検定」でボランティアの協力をいただきました。

子どもたちは、最後の検定に向けたたくさんの励ましをもらって頑張ることができました。

3年生では、図工での「のこぎりを使った活動」で協力をいただきました。

子どもたちは、初めての経験でも安心してのこぎりの使い方を学ぶことができました。

<協力いただいたボランティアの皆様の感想を紹介します。>

- 真剣に取り組む姿は、微笑ましく元気をもらえました。
- 熱心に取り組む熱量にとってもよい刺激を受けました。
- あきらめずに何度もチャレンジし、頑張っている姿が見られてよかったです。
- 話をよく聞いてくれて、「ありがとうございます。」の気持ちのよいあいさつができていました。
- 子どもたちの安全のためにボランティアを積極的に活用するとよいと思います。
- 普段、子どもから聞いている友達の名前と顔がわかり、保護者同士も情報交換できて有意義でした。